



おはようロスアンゼルス

倫理研究所U.S.A. 南カリフォルニア倫理の会

4月号会報

2202 W. Artesia Blvd. Unit L Torrance, CA 90504

Fax: (310) 323-6737

2014年(平成26年) 4月1日(火)

NO. 152

ロスに寄せて

法人局普及事業部

主事 田島康賢

この度は、南カリフォルニアにて、橋会長はじめ役員の皆様、また会員の皆様に温かく迎えて頂き誠にありがとうございます。

今回でロスアンゼルス出張は私にとって二回目になります。初めてロスに参りましたのは二〇一一年二月十七日、二月二十二日でした。あれからちょうど三年が経過したことになります。久しぶりにお会いできることを本当に楽しみにしていました。

空港までお迎えいただいた門園美枝子氏と前田グレース氏の明るく笑顔とおもてなしの心は三年前も同じで健在。また運転スピードの速さ?も健在でした。役員や会員の皆様もそれぞれお元気でこちらが圧倒される感じがします。女性に年齢をお聞きしては失礼ですが、それとなく年齢を耳にしてびっくり!! いい意味でアンビリバーボーです。これからも益々お元気で経過してください!

さて今回は、どうしてもお伝えしておきたいテーマを日本から持ってきておりました。

あれから三年が経過しようとしていた東日本大震災。三年前、初めてのロス出張から日本に戻って二週間ほど過ぎた三月十一日、この大震災が発生いたしました。私はちょうど個人会員組織である家庭倫理の会の東北地域を担当していたのです。その日は宮城県仙台市におり、午後には東京行きの新幹線に飛び乗ったのですが、その中で被災し五時間閉じ込められました。二月十七日の倫理セミナーで詳しくお話しましたとおりです。

新幹線の中で東北の会員の状況把握につとめ、かろうじて連絡手段としてつながっていた私からのメールをみて、電話をくださった方がいます。あの日、電話回線は混線してその後何日間もパンク状態。その中で回線がつながったのは奇蹟です。しかしお電話した方は、その後津波に車ごとさらわれて亡くなったことを知りまし。訃報を聞き大きなショックを受けました。最後のその声はずっと耳の中に残るのです。その方を含めて、家族のように頻繁にお会いする会員を含めて二十五人亡くなりました。

東北には優しくいい人たちがたくさんいます。その方々の死を受け入れることが出来ず悩み続けていました。ご承知のとおりこの大震災は大規模な自然災害というだけでなく、原子力発電所の事故を伴う人類史上初の「原発震災」となってしまうました。そして、日本人に、いや人類に対して多くのことを気付かせてくれませした。震災直後には、被災者の秩序正しい行動や忍耐力が世界から絶賛されましたし、エネルギー政策も考えさせられました。さらに被災地の惨状が繰り返し報道されることで、「自分も被災者のために何かをした」と、日本中が愛の空気に包まれました。

この度亡くなられた方々は、そのような大切なことを気付かせてくれる役割を担ってくださったと思わざるを得ません。そのような思いに至った時、自分の使命や役割とは何だろうかと考えさせられました。考えても答えは簡単に見つかりませんが、追求し続け、少しでも誰かのお役に立てる自分になるよう努めてまいります。

この度のような大災害という非常時のみならず、日常の生活においても「共尊共生」の精神が発揮される社会づくりを実現することが、私達倫理運動の目指すところではないでしょうか。そう考えると、ロスアンゼルスでお会いした皆さんは、日常から結束力が強く、お互いを助け合う地盤がごさいます。異国の地であるロスに移民した日本人の歴史をみると本当に大変な思いをされた時期があったと伺いました。その非常事態が結束力を強める一助になったことと推察し、その精神が日常で続いていることに感動します。

そういった意味で、日本人が忘れていている大切なものを、遠く離れた地に住む純日本人である皆様からあらためて学ぶことが大きいと感じるこの度の出張でした。またお会いいたしまし。本当にお世話になりました。

!SEE YOU AGAIN!!



相馬紀子専任講師ご出

張

四月十二日（土） 午前十時〜
会員のための

純粹倫理勉強会

四月十三日（日） 午前十時〜

子育てセミナー

「愛を伝える子育て」

―親子の絆を深めよう―

親と子は目に見えない深い部分で繋がっていて、そこを理解しないと子育てが上手くできない、ということがあります。

相馬講師は自らの体験をふまえて、子育て・親子問題、子供の受験、健康、生きがい、親の介護等をテーマにした講演会、セミナー等の講師として活躍中。分かりやすく感動的な講演は好評を博しています。

子育て中の若いお母さん方には是非聞いて頂きたいです。質疑応答などたくさん出来ますから、皆さん、大勢のお友達をお誘い下さい。

.....

T J S ラジオ FM 106.3

相馬紀子専任講師

プロフィール

昭和二十二年三月、山形県新庄市生まれ。

昭和六十年七月、社団法人倫

理研究所の会員となり、子育て・

親子・夫婦問題などについての学

びを深めるとともに、様々な役職

を歴任。

平成十七年九月、社団法人倫

理研究所 生涯局講師に就任。

平成十八年九月、社団法人倫

理研究所 生活倫理相談士に認

定。

平成十九年九月、社団法人 倫

理研究所生涯局専任講師に就任。

平成二十四年九月、社団法人

倫理研究所 監事に就任。

日本家庭教育学会会員

趣味…ちぎり絵、読書



倫理文化講演会

日にち 五月十八日（日）

場所 ホリデーイン

テーマ 「家庭のちから」

講師 荒木良仁 研究

員

倫理USAの最大イベント、

倫理文化講演会があと二ヶ月に

迫って来ました。日本では二月

から六月まで全国で講演会が開

催されています。

今年のテーマは「家庭のちか

ら」。より良い社会を築く人格の

育成は家庭から始まります。講

演会で多くの人に倫理をお知ら

せて幸せな家庭を築いて頂き

しましょう。お供達をたくさんお

誘い下さい。



プロフィール

法人局 普及事業部 次席

荒木 良仁

一九六九年十月

大阪府に生まれる

一九九五年

社団法人倫理研究所に入所

富士高原研修所で2年間の研

修を経た後、個人会員組織を担

当。

一九九八年 生涯局 企画部 配属

一九九九年 生涯局 首都圏部 配属

二〇〇〇年 教育局 教務部 富士高原研

修所 配属

二〇〇九年四月 法人局 教育業務部 配属

二〇〇九年九月 法人局 普及事業部 首都圏

方面 副方面長

二〇一〇年九月 法人局 普及事業部 北海

道・東北方面 方面長

二〇一二年九月 法人局 普及事業部 首都圏

方面 方面長

二〇一三年九月 法人局 普及事業部 関東甲

信越方面 方面長

現在にいたる。

しきなみ短歌会三十周年

しきなみ短歌会が発会して今年、二〇一四年は三十周年になります。一九八四年に八名で始まりました。本当に良く続いて来ました。嬉しいです。これも滝川歌子さん、奥本洋子さんという発会当時の会員が皆を引っ張って来て下さったおかげです。ありがとうございます。何か心に残る行事をしたいですね。草野律子チーフと共に考えましょう。

倫理USA二十周年

来年、二〇一五年は倫理USA創立二十周年になります。私たちは倫理を学んで本当に良かったと感謝する毎日です。お祝い行事をどうするか、会員の皆さん、アイデアを出して下さい。倫理の灯がロスに灯ったのはもっと古くて一九四七年です。以来、先輩たちの努力が実ってカリフォルニア州の非営利団体として認められたのが一九九五年なんです。先輩の皆様、ありがとうございます。

物を生かす四つのポイント

ト

1. 物を知る

この道具はどこで作られ、どういういきさつでここにあるのか、これまで誰が使っていたのか、値段はいくらか、由来を知れば、愛情が自然にわいてくる。もっと知りたくなる。自分が今日取り扱っているものの良さを知るとは、物のいのちを存分に生かす第一歩。

2. 正しく使う

どんな物にも用途がある。その物の本性を知り、正しく使うこと。人に使われるために作られた物は、そのように使う。家は人が住んでいないと悪くなる。車も乗らずに放っておくとすぐ駄目になる。使えば傷むところも出てくるが、掃除や手入れを怠らなければ、放置するよりはるかに長持ちする。使わずに死蔵しているのでは、本当に物のいのちを生かしていることにはならない。

から、しがみついて離すまいとするより、活かして使ったほうがよい。また、無駄にせず、活かして使う人のもとに、金銭は集まってくる。貯めこんでいつまでも使わずにおくのは、何の役にもたたず、かえって金銭という物を粗末に扱うことになる。

3. 大切に扱う

「物を大切にしましょう」とは、小学校の教室にも掲示してあるような標語だが、そもそもなぜ大切にするのか。案外わからない。また、わかっている、日常生活ではなかなか実行できない。

「扱う」とは手をかけること。目をかけて、手をかけて、大切に扱う愛情は、自然に物質にも伝わる。筆や楽器など、たとえ安物でも、持ち主の愛情が伝わるとどんな高級品も及びの付かない良品となる。手になじみ、意のままに動いてくれる。そして、大切に扱った物は、単に長持ちするに留まらず、そうすることでいい物を生み出す。

してくれる。よく働いてくれ、その人を幸せなほうに導いてくれる。

4. 感謝して使う

日本では、古来から物の恩に対して感謝の念を表わす式や祭りが行われてきた。各種の感謝祭、かまど祭、針供養、陶器祭・・・こうしたすばらしい心がけを迷信として退けて、馬鹿なことだと笑えば、やがて物に困らせられる。

物はもともと天から与えられるもの。すべてにいただきものである。食膳にあがった食べ物を「今日一日の命の糧だ」と喜んで感謝をしていただくように、すべての物に対しても、「これは天下一品のよきものだ」と喜んで使う。「今日も一日よく働いてくれたね。ありがとう」という気持ちで後始末をする。後始末はその物（仕事）に日々の区切りをつけるばかりでなく、それがそのまま翌日の準備でもある。

『Rimi Network』

2014年1月号より

おめでと〜うございませう

『しきなみ』三月号

群螢集（西東京・海外）

三席 ホン史子

流星を見る子に誘われ来し砂漠茫茫として

物音もなし

入選 松永典子

『秋津書道』三月号

競書

四席 滝川政和

五席 梅本豊造

入選 咲田静子

入選 堀井幸江

入選 長谷川松子

三席 前田グレース一般部

九席 草野律子

三席 高田弓子

八席 小倉治望

入選 高橋ひとみ

入選 ノーリスてるみ

入選 大竹信雄

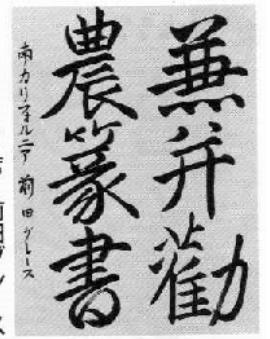
調和体

芸術部（碧の部）

二席 滝川政和



2席 碧の部 南カリフォルニア 滝川 政和



3席 前田グレース 力強く伸びのびと書かれています。余白が欲しい。



3席 高田 弓子 楷書らしい素直な線質、落款の位置と大きさを工夫。



8席 小倉 治望

秋津書道会、しきなみ短歌会では倫理文化講演会で日頃の学習の成果を展示致します。今、展示用作品の制作に精出しています。ご期待下さい。

しきなみ短歌

孫の声いつのまにかに声変りママとの会話に素直さをみゆ 梅本和子

前方のテールライトを頼りつつ濃霧の中をひた走る朝 門園美枝子

「書き初め」をする ホン史子

『日本人の誇り』手にして揺れている異国に埋める我が身なれども 松永典子

寝転んだまんまの姿勢で眠り続け朝まで動けぬ ギックリ腰なり 草野律子

「コンコン」と咳する娘思いやり旅立ちの朝うどんを作る 摺木洋子

異国にて節分の夜に家族らと小声で叫び鬼を追い出す 松元依子

紅（くれない）のバラははらと崩れゆく七、八枚の花びら重ね 滝川歌子

久々に小雨降りつぐ一夜明け空気清しく春待つひと日 奥本洋子

見はるかす荒涼とした溶岩の硬き大地に草の芽ぶくも 杉野和子

的を得た名句がならびなるほどと思わずほほ笑むシルバー川柳 長谷川松子

我が子とは何を聞いても「多分ね」と会話の糸ロシヤットするなり 塩出笑子

コンディション自ら滑って確かめた聖子団長の強き息込み 伊澤潤子

お正月孫が来りてはなやかに帰った後はまたさびしかり 飯田隆

元日のビンゴ楽しむ四世代目をこらしつつ耳すませおり 梅本豊造

父母に日々の出来事書き綴る言葉にならぬ「いつもありがとう」 矢口裕司